

2022年4月24日(日)／説教者：國分美生

説教：「水と生きる力」

聖書：詩編63:1～12

人間の体は約 60%が水分でできており、水と睡眠さえしっかりとっていれば、たとえ食べ物がなかったとしても2-3週間は生きられるのだそうです。体の水分が著しく不足すると、のどの渇きだけでなく精神的にも不安定になります。まさに私たちの命は水で支えられています。

詩編 63 編はダビデがサウルに追われて荒れ野を逃げ回らなければならなかった様子が思い起こされます。2 節「私はあなたを仰ぎ求め、わが魂はあなたに渇き、わが身はあなたにこがれます。渇いて疲れた地で、水もなく」…古来から人間は、感覚的に命の危機を、水がないことの危機と重ねあわせてきました。体が水なしには生きられないのと同じように魂は神なしには生き続けられない、ということはこの祈りから知らされます。

命を奪おうとする者たちに囲まれて、魂の飢えと渇きを覚えながら、しかしこの詩でダビデは神に信頼し、自分の命を神が守り、慈しみのうちに恵みを与えてくださることに希望を置いています。神の助け、神の臨在を求める魂のうめきから始まるこの祈りは、3 節以降、神への賛美がつづられていきます。

イエス・キリストはヨハネ福音書の中で、サマリアの女と出会ったときにこのように言います。「私が与える水を飲む者は決して渇かない。私が与える水はその人の内で泉となり永遠の命に至る水がわきでる。」(ヨハネ 4:14)

イエス・キリストが私たちの命の水であり、生きる力として神から与えられているのと同じように、私たちののどを潤して、命をつないでくれる実際の水も神によって与えられているものですが、今私たちの水が脅かされています。

2019 年に行われた血液調査では宜野湾市民の PFOS の血中濃度は、全国平均の約 4 倍から 5 倍にも上がることがわかりました。水源は嘉手納基地近くの北谷浄水場です。宜野湾市だけでなく、この北谷浄水場を水源とする各町々でも水道水の汚染が報告されています。先日、有機フッ素化合物汚染から命を守る県民集会が行われたように、多くの人に関心をもって注目し、関わる問題となっています。基地がこれまでもたらしてきた危険は、米軍機が頭の上を飛ぶということだけでなく、人間の命に欠かせない大事な水の汚染でもありました。

詩編を通して、わたしたちは神がどのような方であるのかを知り、神はどのように人間と世界とに関わるお方であるのかを知ります。私たちは詩編を通して神への信頼と祈りと讃美の言葉を、また神に信頼する者はどのように生きるのかを教えられます。(國分美生)